

# 社団法人岩手県理学療法士会

## 平成 18 年度事業計画

### 【事務局】

#### 総務部

「岩手県士会事務手続きの手引き」発行

士会に関する事務手続き手引き書を製本、全会員への配布

新規入会手続きの早期化

新卒者の早期把握とオリエンテーション、広報による早期手続き完了者の 100%を目指す

新人オリエンテーション開催並びに相談窓口広報

5 月士会研修会時に開催予定平行して、文書等による入会手続き相談

士会啓発ポスターの発行、リーフレット作成

士会並びに事務局の P R ポスター、士会リーフレット作成

例 「リハビリテーションに関するご相談は～」「理学療法士は県民の皆様の～」等

各種調査業務の実施

1) 施設メールアドレス ( P C 普及率等含む )

2) 会員証手続き終了状況

3) 潜在 P T

4) 士会ニュース・ H P 内容に関する意見

定期総会出席者拡大への働きかけ

士会ニュース並びに広報による働きかけ

ブロック活動の促進

前年度事業計画案を修正、各ブロックにおける代表窓口の設置

窓口の広報活動

士会内年間行事の広報

年度当初における各局主催行事の会員提示

#### 財務部

クレジット機能付き会員証の普及促進

未手続き会員の発掘、啓蒙と指導

法人基盤強化目的による基本金基金維持

各局直接発送分郵送法の見直し

可能な限りの各局郵送物の一括郵送を考慮した上で、各局各部に対する文書郵送に関する、切手・封筒の前渡し検討

領収書処理法等事務手続きに関するガイダンスの検討

#### 士会ニュース編集部

士会ニュース内容の見直し

会議録偏重型の内容を見直し、トピックス他の企画を検討

投稿者への謝礼検討

士会ニュース規格変更

A4版化を検討

士会ニュースの発行

現行発行月の見直しを行い6月・9月・1月へ移行（現行は7月・11月・3月）

インターネット管理部

士会HP内容充実

内容の再検討並びに一般向け、会員専用ページ等運営方法の変更

改善案の早期提出とスケジュールの提示、具体的改善

士会HP・メールの活用方法見直し

他団体依頼への早期対応

会員所属施設アドレスの把握等による活用法の充実

その他

個人情報関連委員会設立準備

士会内における標記委員会立ち上げの素案作成と理事会への提出

事務局移転準備

## 【社会局】

広報部：理学療法週間

事業内容 1. 施設相談、見学（各会員協力施設）

2. 介護予防キャラバン（3地区以上、地区限定）（平成18年7月中）

業務管理部：研修会派遣、研修会開催

研修派遣 1. 管理運営研修会（富山） 2. 管理運営研修会（千葉）

研修会開催 1. 業務管理研修会（平成18年10月中）

2. 派遣研修伝達研修会（平成19年2月中）

地域支援部（訪問人材育成）：研修会開催、実務研修会実施

介護予防プロジェクト（Project K）の推進：県内推進活動・教室の実施等

研修会開催： 訪問理学療法に関わる研修会（生活支援系と合同）

実務研修実施： 1週間単位

協会協力部（協会主催研修会参加）

研修派遣： 公益事業リーダー研修会

その他

健康福祉部（市町村福祉祭り等への参加）

出張相談・介護予防関連事業（例年：石鳥谷、その他理学療法週間時以外への対応）

医療保険部・介護保険部（研修会開催、会員質問対応）

研修会開催： 状況を見ながら実施（平成18年度11月頃予定）

会員質問対応は常時実施

研修資料部（各部事業資料収集、学術誌投稿）

## 【学術局】

- 1 人材育成システムの機能化を目指した体制づくり
- 2 魅力ある専門領域研究部研修会、岩手県学術集会の企画・運営
- 3 生涯学習プログラムの推進
- 4 研究活動推進のための助成制度の再検討

### 専門領域研究部

士会研修会は5月と3月に予定。

5月は内部障害専門領域研究部が担当し、「糖尿病」をテーマに企画中。

各領域共に年1回以上の開催を予定し、年度初めに年間開催予定表を士会員に提示できるように企画する。

人材育成システム的一端として構成した「運営部員」の資質向上を目指し、士会員の「臨床技術の向上」「研究活動の推進」をサポートできる体制を構築する。

### 研修部

第9回岩手県理学療法士学術集会の開催

開催地；八幡平市

平成18年9月2日、3日 その他の詳細は今後検討。

各研修会における準備運営のサポート

### 生涯学習部

新人教育プログラム集中研修

Part1：6月3日、4日（岩手リハビリテーション学院）

Part2：9月30日、10月1日（盛岡周辺にて開催予定）

「生涯学習基礎プログラム」「協会専門領域研究会登録」の推進。

### 研究開発部

研究活動支援；研究指導、演題・論文審査を行うための部員を増員し、研究活動のサポートを継続的に行っていく。

研究助成；「演題助成」と「論文助成」の2つの助成金を設ける。また、各専門領域研究部会にも1題分の助成枠を設ける。

### 学術誌部

士会誌との分離を図り、図書登録を目指した学術誌の刊行を目標に、その内容について検討。

### 学術資料部

保管される学術的資料のDVD化を含めた、学術資料の会員有効活用のためのシステム構築と稼働。

データベースソフトを活用による会員学術活動データベース構築の効率的なシステム構築と稼働。

## 【その他】

個人情報保護関連委員会の設立

研修用備品の充実